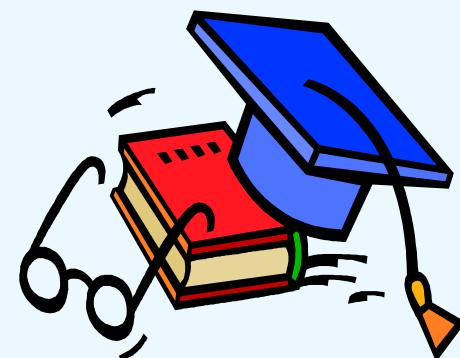
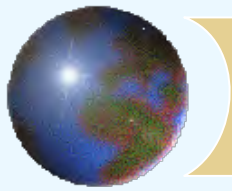


日本図書館協会
2023年度（令和5年度）
中堅職員ステップアップ研修（2）

資料・情報との出会いを創出する
「情報リテラシー支援」

梅澤 貴典





本日のスケジュール

9:30～10:30 講義

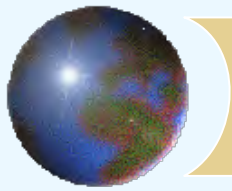
- ・ 講師自己紹介、講義ガイダンス、確認等
- ・ 講義 + 課題検討とグループ討議の進め方・趣旨説明等
- ・ プレゼンテーション、討議のやり方について

10分 (休憩)

10:40～12:00 グループワーク

- ・ グループ内・個別プレゼンテーション
(事前課題で作成した資料を使用予定) 質疑

12:00～13:00 昼休み

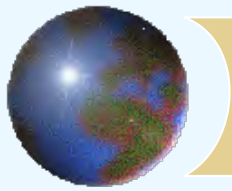


本日のスケジュール

14:00～15:20 グループワーク

- ・グループ内での役割分担（司会進行、記録、全体での代表発表者、タイムキーパー）
- ・討議 個別プレゼンテーションを踏まえグループとして問題点と解決策をまとめる。
- ・全体に対するプレゼンテーションの準備
フリップ（パワーポイントあるいは手書き）の用意

15:20～15:30 休憩



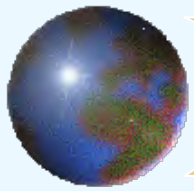
本日のスケジュール

15:30～16:15 全体での発表会

- ・全体でのグループの代表者による発表（1グループ5分間×3グループ）
- ・プレゼンテーション（パワポ画面共有、あるいは手書きフリップ使用）
- ・質疑応答、コメント等

16:15～16:30 講師によるまとめ

- ・質問への回答
- ・事後課題についての説明



コロナ対策として無料公開した資料と動画

☆ 「在宅で学ぶ**大学生と教職員**のための情報収集法
& 大学図書館リモート活用法」 (資料)

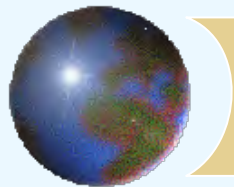
https://researchmap.jp/multidatabases/multidatabase_contents/detail/254337/6453c4d89da11fffb710040b13e3bda6?frame_id=474161

【Youtube動画 (60分間)】 <https://youtu.be/Sc8ttQ3xFzQ>

☆ 「在宅で学ぶ**高校生**のための探究的学習法 & 図書館リ
モート活用法」 (資料)

https://researchmap.jp/multidatabases/multidatabase_contents/detail/254337/33c3a38b5cba31d6fe6a295cb463a1a8?frame_id=474161

【Youtube動画 (90分間)】 <https://youtu.be/UJwG27ji4VQ>



資料・動画公開の経緯のタイミング

2020年 3月 2日 小中高 臨時休校要請

4月 7日 緊急事態宣言（東京など7都府県）

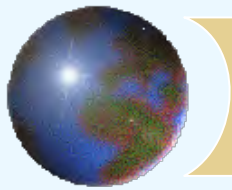
4月16日 緊急事態宣言 全国に拡大

4月19日 大学生向け資料公開

4月27日 大学生向けYoutube動画公開

5月13日 高校生向け資料・Youtube動画公開

5月14～25日 段階的に、緊急事態宣言解除



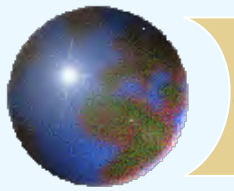
無料公開した資料（入門用の解説書）

☆「ネット情報の海に溺れないための学び方入門」

<https://note.com/umezawatakanori/m/m193826be22b4>

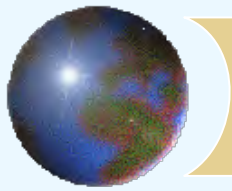
1. 「ネットで何でも分かる」時代に、なぜ学ぶのか？
～これまでに自分が得てきた情報は信用できるか？～
2. ネット時代に、なぜ読書？なぜ図書館？
～自分だけの世界地図と、脳内四次元ポケットを持とう～
3. 「鬼に金棒」の図書館活用術
 - （その1） 学術情報の流れと成り立ち
 - （その2） 事典と辞書
 - （その3） 本
 - （その4） 専門雑誌とオープンアクセス
 - （その5） 統計と公的データベース
 - （その6） 地域・郷土資料とレファレンス
9. ネット&図書館の複合的活用術
10. 「学ぶ」知識から「使う」教養へ
（アウトプット）





意識した点

- 対話型。マナブ君の悩みや疑問を起点とし、それへの答えとして「問題点」と「解決策」を示した。
- 始めに「なぜ、調べ・考え・発信するのか？」
- 「ネットで何でも分かる」時代に、なぜ学ぶ？
なぜ読書？なぜ図書館？
- 「本と図書館」VS「ネット情報」の対立構造ではなく、双方の長所を活かし「良いところ取り」
- 「請求記号」や「書架」など、図書館用語を使わない。



ご質問への回答

・なぜこの構成？ なぜ90分間？

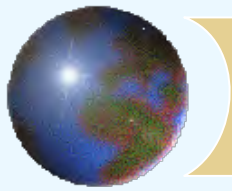
→授業内でおこなえる簡易なガイダンスは先例が多いが、どうしても必要最低限の内容に絞られる。

→多くのガイダンスは、時間の制約もあり、いきなり「本の探し方」など「図書館をどう使うか」から始まりがち。

→始めに「なぜ、調べ・考え・発信するのか？」を示し、考察と「文章や言葉でのアウトプット」を目標とした。

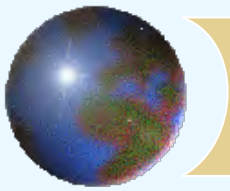
→動画の視聴は自分で時間配分でき、中断・再開も容易。
知っているところを飛ばしたり、繰り返し見られる。

→（反省点）フォントと色の工夫・チャプター・簡易版の必要性



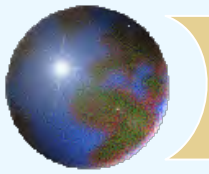
ご質問への回答

- ・ 学力が高い高校生を対象として想定している？
- ・ 学校図書館より、どちらかというと公共図書館が中心？
- ・ 「知の劣化」とは、具体的にどういう状態を意図した言葉なのか。
- ・ こういった資料を作る際「伝えるために気をつけていること」を教えてください。
- ・ ニーズの把握はどのように行っているのか。
- ・ ガイダンス作成に、毎回どのくらいの期間を設けているのか（スライド作成時間のみでなく、日々頭の中で考えを構築している時間も含めて）。



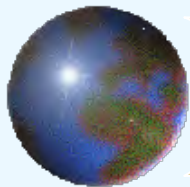
ご質問への回答

- 動画に対する外部の反応（授業で使うリクエストなど）
例えば、探求的学習や、情報収集について、考え方が変わったなどの報告や感想があれば知りたい。
生徒目線で分かりづらい点などはあったのか。
反対に、特に喜ばれた部分はどのあたりか。
- 学校以外で活用された事例などがあれば知りたい。
- 実際に学校の現場等で活用してもらうために、どのような広報を行ったか。
この動画（目的意識）をターゲットやその周囲の人に届けるために効果的な方法は？
- 今後のバージョンアップの予定や想定
- 生成AI について、ガイダンスではどう説明をされますか？



ChatGPTとは？

- 大規模言語モデル（単語の並びの出現確率分布）による自動会話プログラム。真偽の判断はしない（できない）。
- ~~2021年9月時点のネット情報しか学習していない。~~
→ 2023年9月27日、ネット閲覧の開始を発表。
- プログラミングや文案の作成、翻訳には有用になり得るが、調べごと（事実の調査）での利用は、現時点では問題あり。
 - 誤情報を鵜呑みにして発信 → 捏造・改竄になり得る。
 - 他者の著作物が含まれており、無意識に剽窃の危険も。
- 質問の工夫など、活用には「幅広い基礎知識」が必要。
 - 学校での学び・読書・見聞・対話が、やはり大切。



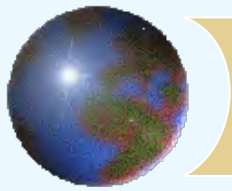
人工智能にできない仕事をめざそう！！

2016年08月04日(木)

人工知能 病名突き止め患者の命救う 国内初か



東京大学医科学研究所が導入した2000万件もの医学論文を学習した人工知能が、専門の医師でも診断が難しい特殊な白血病を僅か10分ほどで見抜き、治療法を変えるよう提案した結果、60代の女性患者の命が救われたことが分かりました。人工知能は、このほかにも医師では診断が難しかった2人のがん患者の病名を突き止めるなど合わせて41人の患者の治療に役立つ情報を提供していて、専門家は「人工知能が人の命を救った国内初のケースだと思う」と話しています。



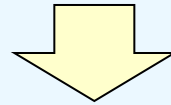
「ネットで何でも分かる」時代に、なぜ学ぶのか？



鎖付きの本

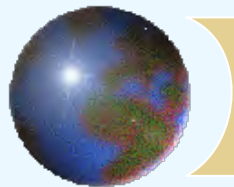
(Guildhall library, London)

かつて知識は「所有」自体に意味があり「独占」することに価値があったが、現在は逆。創造したアイデアや知識は広く発信することで新たな価値を生む。



「歩く事典」になるよりも、
「問題解決にはどんな情報が必要か」
「どこをどう探せば、求める情報が見つかるか」
「誰に訊けばより良いか」を推理する能力が必要。

→探究活動で、自由闊達な応用力を育てる。



図書館が、「生きる力」を育てるために

新時代の問題発見・
解決力、価値創造力
育成のための教育改
革において重視

- (1) 知識・技能
- (2) 思考力・判断力・表現力
- (3) 主体性・多様性・協働性

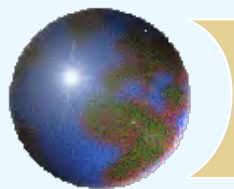
易

評価

難

【課題点】

- ・ **高等学校教育**: 「学力の3要素」を踏まえた指導が不十分。
- ・ **大学入学者選抜**: 知識の暗記・再生や暗記した解法パターンの適用の評価に偏りがち。一部のAO・推薦入試はいわゆる「学力不問」と揶揄される状況。
- ・ **大学教育**: 知識の伝達にとどまる授業も見られ、学生の力をどれだけ伸ばし社会に送り出せているのかについて社会から厳しい評価。



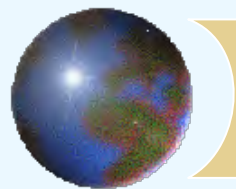
図書館が、「生きる力」を育てるために

「生きる力」（中教審答申「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」）

自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、
主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力・
自らを律しつつ、他人と協調し、他人を思いやる心や感動
する心など豊かな人間性とたくましく生きるための健康や体力

- 従来の知識伝達型の教育から、
問題解決型の学習への転換が模索されている。
- 学校図書館の役割はますます重要となっており、
公立図書館など他の機関との連携が必要。

出典：「学校図書館&公立図書館連携マニュアル増補版」
千葉県教育振興部生涯学習課（平成21年2月）2ページ（一部要約）



高大接続改革がもたらす変化

高校

入学試験

大学

・知識・技能

・マークシート式
・短い論述式
・小論文
・面接試験

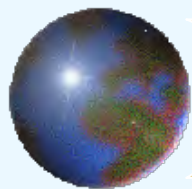
・学歴シグナリング
(偏差値で序列化)
・殆どが4年で卒業
・社会からの批判

・知識・技能
・思考力・判断力・
表現力
・主体性・多様性・
協働性

・自由参照式論文
(知識量→活用能力)
・プレゼンテーション
・グループワーク

3ポリシーの明示
・入学者受け入れ
・教育課程編成・実施
・学位授与

ウォッシュバック効果



図書館が、「生きる力」を育てるために

新聞・雑誌・統計・データベースなど

研究支援

学修支援・
情報リテラシー教育

課題研究

調べ学習

読書週間・
感想文コンクール

大学図書館・
専門図書館

連携

連携

学校図書館

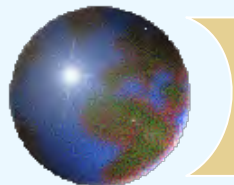
連携

読み聞かせ
お話し会
ブックトーク

公共図書館

物語・小説・文学・伝記・随筆など

成長の時間軸



事後課題について

- ・ 事前動画視聴・グループ討議・全体発表を踏まえた「利用者ガイダンスの改善案」を提出（個人ワーク）
- ・ 形式は自由。Wordによるレポート形式・PowerPointによるプレゼン資料等いずれも可。
- ・ 枚数等も自由。ただし5分間以内で発表できる内容を想定すること。
- ・ 本日のグループ成果のブラッシュアップ、自館のガイダンスに応用した内容、いずれも可。